

赤崎っ子



めざす子ども像

あ あかるい子

か かしこい子

さ ささえあう子

き きたえる子

R元年度 学校便りNO. 26

佐世保市立赤崎小学校

TEL 28-5543

文責 並川和彦 (R2. 2. 20)

新1年生保護者説明会・交流会 2月10日(月)

去る2月10日(月)14時より、新1年生保護者説明会を開催し、新1年生との交流の会を5年生が行いました。

保護者の方々には、音楽室にて、子育て講演会と学校説明会に参加していただきました。

その間に、5年生は、年長の園児たちと、体育館でペアになって教室へ案内していました。ペアで校内探検をした後、各教室で絵本の読み語りをしたり、いろいろな遊びをしたりして楽しく過ごすことができました。

数名の5年生児童に感想を尋ねたのですが、「新1年生は、小さくてかわいかった。」とか、「6年生になったら、お手本になれるよう頑張りたい。」などのとても前向きな意見を聞くことができました。5年生児童が、4月からは赤崎小のリーダーとなるべく少しずつ成長していることを感じました。



子ども期歯科保健研修会2月15日(土)

2月15日(土)、コミュニティーセンター5階ホールにおいて、令和元年度佐世保市子ども期歯科保健研修会が開催されました。その中の講演会で、「噛む力は生きる力」と題して、武雄市にあるマスタ小児矯正歯科医院の増田純一院長のお話がありました。参考にさせていただければと思い、さわりだけご紹介します。

咀嚼のために大事なのが口唇の動きで、特に上口唇の使い方が上手くできないと食べ物を押し込むことになり咀嚼も上手くいかないのだそうです。また、舌の動きも重要なポイントで、奥の歯で噛み砕くためには十分な舌の動きが必要なのだそうです。このようなことを私たちは無意識に行って食べ物を食べているわけですが、「口いっぱいに入れる」「ペチャクチャ音を立てる」「丸飲み込みをする」などがみられる子どもたちは、咀嚼の機能が十分に身につけていないことが心配されます。この咀嚼の原点は、哺乳期、離乳期にあるということで、この時期の食事の与え方や食べ方が大きく影響するとのことでした。また、赤ちゃんから幼児期までの歯の生え方に応じた食べ方(手づかみで食べる、自分で食べることなど)を十分にさせることが必要ということでした。

咀嚼は、歯並びや、かみ合わせ、上あごの発達にも関係しており、口を閉じない口呼吸なども舌が上あごを押し出す力が不足して、不正咬合の原因になるのだそうです。

「食事の中心に咀嚼あり」と強くおっしゃっていました。